



令和元年6月24日

研究主題 「考えることを楽しむ！」

～文教大学付属小学校型 ディープアクティブラーニング
学びの深化を目指して「自分の考えをもち、伝え合い、高め合う力を育む」～



令和元年6月24日(月)、本年度第2回目の校内研究授業を行った。第2回目は、ICTを効果的に活用した授業づくりをテーマに総合的な学習の時間として、5年2組神嶋凌介教諭は、単元名『ロボットを動かそう』、6年2組太田隆平教諭は、『Pepperの読み聞かせ』を行った。

神嶋教諭は、「自分の声を反応の合図にしてロボットを動かすこと」を本時の目標に設定し、子どもたちにロボットが動くために必要なプログラムとその順序を考えながらペアで話し合いながら、考えさせた。子どもたちは、何度もトライ&エラーを重ねていきながらも、どんな命令をどんな順序で組めば思い通りに動くのかを考えることができた。

太田教諭は、Pepperで昔話の読み聞かせをする、という単元目標に向かって、「考えたプログラムを発表しあい、他のプログラムの良さを見つけ、それをいかすこと」を本時の目標に授業を展開した。子ども1人につき1台のPCを使わせ、子ども同士の相談の時間をあえて設定しないことで、一人ひとりが自分なりに考え、工夫できるようにした。

本時では、子ども同士がはじめてお互いのプログラムに触れ、友だちのプログラムの工夫を見つけ、自分にいかそうとすることができた。

研究協議会では、「共感」「課題」「教師」「児童」の4要素に沿って良かった点と改善すべき点、アドバイスを付箋に記載しグループごとに成果と課題の発表を行った。また、今回は慶應義塾幼稚舎教諭の鈴木二正先生を講師としてお招きし、授業と協議会の指導・講評も頂いた。

ICTを難しいものとして考えるのではなく、新しい文房具の一つとしてとらえ、まずは単純なものから取り組ませることでICT活用の敷居が低くなることなど、貴重なお話もたくさん伺うことができ、大変有意義な校内研究となった。今後、教諭自身も自分を高めながら、質の高い授業をするために、日々、研究を積み重ねていく。

